

2017年四旬節

親愛なる姉妹の皆様

教会が言っているように、主は、四旬節が始まる今日、灰の水曜日から、私たちに大切な時期を与えてくれます。その四旬節の中で、私たちそれぞれが、空しい信仰者にならないよう私たちの信仰について多くのことを内省し、偉大な復活の出来事の準備をします。また私たちは、どのように個人的、そして共同体的にその歩みを進めていくかを、私たちの生活について特別な方法で内省していかなければなりません。

教皇は、この時期を教会のため、および私たちそれぞれについて、刷新の時期ですが、特別な回心、恵みの時期として述べています。私たちは、私たちの小さな世界のはるかかなたにあるところに向かうために私たちの目と耳、また特別な方法で心を開いていく必要があります。私たちは、私たちが消耗させるマンネリ化と戦いながら、神と兄弟たちに自分自身を開くよう招かれています。

教会は、この内省の時期のためにマタイ福音書 6,1-6、16-18 中で、私たちに 3 本柱を提案しています。

このテキストは、祈り、断食、そして施しをするキリスト者の生活の 3 つの基本的な柱のことを話します。悪評のための欲望がなく、虚栄心がなく、外見によって支配されることのない、内密な神の心の内に素朴で、謙虚な方法でそのことを述べています。人生の価値は、成功することにあるのではなく、私たちの内的なところにあります。

第一の要素は祈りです。「あなたがたが祈るときには、他の人に見てもらうため... 偽善者のようにしてはなりません...」

四旬節は、素朴、深遠、親密、より長い祈りの時間が捧げられる時期です。祈りの時間であるからと言う単なる義務遂行のためにする祈りではありません。私たちは、愛である神と出会うため、さらに自己や他者のニーズに応じて、それを神に表現する必要性を感じてする祈りです。それはこの世界がもっている貧困や苦しみの多くの状況に応じて神にとりなす、とりなしの祈りです。

四旬節の旅における第二の要素が断食です。「あなたがたが断食するとき、偽善者のように悲しそうな顔をしてはなりません...あなたの頭に油を塗り、あなたの顔を洗いなさい...」

そのことが真に私たちの安定した生活に影響を及ぼす場合、それが他者に利益をもたらす場合、私たちが兄弟のニーズを知って身を入れてそれに応えて世話をする良きサマリア

人の生き方の精神を育成する場合に役立つ断食は、理にかなっています。他の言葉で言えば、私たちが失業、戦争、不正のいかなる種類によって苦しんでいる人たちの状況の中で、他の人とともに一生懸命に努力することです。

断食は、私たちの必需品を、他の人にもう少し与える必要があることを知って、私たちの態度を分析し、本質的なところに心を向けるよう助けるべきです。それは私たちの安定した生活と利己主義から脱皮すること、私たちの小さな事柄を忘れて、必要としている人びとと共有するために本質的なことに私たちの心を向けることです。

第三の要素は施しです。「あなたが施しをする場合には、偽善者がしているように、あなたの前でトランペットを演奏しません...」

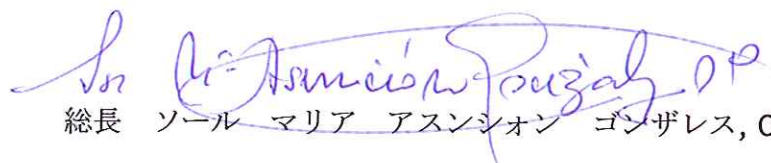
施しは、何かのお返しを期待せずに与える兄弟的愛徳の方法の一つです。私たちが、無償で受けたものを無償で与え、最も必要としている人びとと共有することが義務付けられています。施しは、無償でいただいた賜を生きるために私たちを助けます。所有の欲求から私たちは自由になり、私たちがもっているものを失うことの恐怖から私たちを解放します。しかしながら、真の愛徳は、物質的な形態の援助だけでなく、むしろ彼らの苦しみを共有します。明日の保証もなく、今日も空腹のうちに過ごしている私たちの周辺の多くの人びとを考えています。例えば、きたないホームレス住まいをしながら、月の終わりにはやりくりできない家族。極貧の高齢者たちです。それぞれが次のことを自問してみましょう。なぜ彼らは、あのような生活を強いられ、私はそうでないのでしょうか。あるいは私たちは、少し、彼らの苦しみを軽減することができたとき、社会や公的機関の欠陥を認めるだけでしょうか。私たちが、楽しんでいるものの一部を与えて、彼らの不幸に参加できない場合、私たちの良心と心は、満足しているのでしょうか。私たちが、私たちの時間を使って愛を込めて生活して行くことが、兄弟的正義の仕事のすべてです。

イエスは、私たちに3つの非常に大切なことを伝えています。あなたがより良いキリスト者になりたいならば、祈り、引き渡し、そして他者のために自分を犠牲にすることです。さらに私たちは、単純で、つつしみ深く、気取らないで、嬉しそうな姿勢でそれを行います。

親愛なる姉妹の皆様が、この40日間、私たち自身との真の出会い、他者への偉大な愛、そして私たちの周りのすべてのことを要請する気配りをされますよう主に願います。

活を生きるために、私たちを準備させるこの貴重な時間を贈ってくださった主に感謝します。

姉妹的抱擁と祈りを込めて、


総長 ソール マリア アスンシオン ゴンザレス, O.P.